

第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）案について

1 策定の考え方

第3期計画の策定に当たっては、改訂されたデータヘルス計画策定の手引きを基に、標準化された共通のフレームや総合的な評価指標を用いることとする。なお、現行の計画の継続性を考慮し策定を進める。

第3期データヘルス計画策定のポイント

- (1) 総合的な評価指標及び計画様式の活用によるデータヘルス計画の標準化
- (2) 健康・医療情報の分析、分析結果に基づく健康課題の抽出
- (3) 取り組む保健事業ごとに目的、概要、評価指標等を整理



- (1) 他の広域連合と比較が可能となり、情報収集や分析につなげることができる
- (2) 計画全体の目的・目標の明確化
- (3) 課題解決に向けた効果的・効率的な保健事業の実施

2 計画の構成内容

第Ⅰ章 基本事項

第Ⅱ章 健康・医療情報等の現状分析

第Ⅲ章 第3期計画の目的と目標

第Ⅳ章 個別事業

第Ⅴ章 その他

3 計画の目的と目標

■目的

自宅で自立した生活がおくれる高齢者の増加＝健康寿命の延伸

生涯にわたり、健康でいきいきと生活するためには健康な状態でいられる期間を延ばし、できるだけ健康ではない状態の期間を短くすること（健康寿命の延伸）が重要となります。健康寿命の延伸により、高齢者一人ひとりが健康で自立した生活をおくることができるよう、取組を進めていきます。

■目標

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を全市町村で展開し、生活習慣病の重症化予防とフレイル対策の推進を図ります

資料No.2－1

生活習慣病は重症化すると糖尿病性腎症などの長期の治療を要するとともに、がんや心臓病、脳卒中等の要因ともなります。また、フレイルは生活の質を落とすだけでなく、さまざまな合併症を引き起こし、要介護状態となる危険があります。

一方で、これらに早期に気づき適切な生活改善や治療を行うことができれば、健康状態は改善され、要介護状態に至る可能性も減らすことができます。

そこで、全ての市町村で高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施し、被保険者の健康寿命を延ばす生活習慣病の重症化予防とフレイル対策を被保険者に身近な地域で重点的に進めていきます。

そのためにも、被保険者の健康状態を把握し、生活習慣病の重症化予防とフレイル対策の基礎データとなる健康診査・歯科健診の受診率向上を目指します。

広域連合は、市町村の取組が円滑に進むよう、市町村ごとに被保険者の健康課題を分析したデータの提供や取組に対する助言等支援を行います。

更に、市町村と連携して高齢者の健康づくりを行う体制整備を進めていきます。

4 計画の目標値とその項目

計画の目標を達成するために目指すところとして、計画の目標値とその項目を設定します。

5 策定スケジュール

日 程	内 容
5 月	埼玉県後期高齢者医療主管課長会議にて計画策定について説明
5～6 月	実態調査にて市町村へ意見照会（1）
8 月	埼玉県後期高齢者医療懇話会にて計画素案に対する意見の聴取
10 月	埼玉県後期高齢者医療運営検討委員会及び埼玉県後期高齢者医療主管課長会議にて計画素案に対する意見の聴取
11 月	埼玉県後期高齢者医療懇話会にて計画素案に対する意見の聴取
11～12 月	市町村へ意見照会（2）
12 月	パブリックコメント（意見募集期間は1か月）
1 月	埼玉県後期高齢者医療懇話会にて計画案の提示
2 月	計画策定 埼玉県後期高齢者医療広域連合議会へ計画の報告